

AssetCoordinator 6.30.02 の変更内容

2018年12月13日作成

項番	対象	区分	内容
1	AssetCoordinator	動作環境	以下の Microsoft SQL Server をサポート対象に追加しました。 ・ Microsoft SQL Server 2012 SP4 ・ Microsoft SQL Server 2016
2		動作環境	「サーバー (アプリケーション / データベース)」のサポート対象に以下の OS を追加しました。 ・ Windows Server 2016
3		動作環境	「サーバー (アプリケーション / データベース)」のサポート対象から以下の OS を除外しました。 ・ Windows Vista ・ Windows 7 SPなし (SP1 はサポート対象) ・ Windows 8 ・ Windows Server 2008 ・ Windows Server 2008 R2 SPなし (SP1はサポート対象)
4		動作環境	「サーバー (アプリケーション / データベース)」と「管理者 PC・部署管理者 PC・利用者 PC」の対応ブラウザのバージョンを変更しました。 Internet Explorer 9～Internet Explorer 11 ※ 使用できる Internet Explorer は OS に依存します。
5		変更	Java を Open JDK 8 + Eclipse OpenJ9 に変更しました。
6		変更	Tomcat を バージョン 7.0.91 に変更しました。
7		変更	JDBC ドライバを バージョン 7.0 に変更しました。
8		修正	ソフトウェア辞書に重複データが存在した場合に、クイックサーチ画面とその他ソフトウェア台帳画面で正しく表示されない問題を修正しました。
9		修正	数値項目の値が 2147483647 を超える場合に、値の絞り込みを行うとエラーが発生する問題を修正しました。
10		修正	ログイン失敗時のエラーメッセージを修正し、メッセージの内容からユーザ ID / パスワードのどちらを間違えたか特定できないようにしました。